

学校名 草加市立氷川小学校
所在地 草加市氷川町448番地
電話 048-928-6771

1 本校の概要

本市は埼玉県の南部に位置し、南は東京都に、西は川口市に接している。学級数22学級（特別支援学級3学級含む）、児童数553人の学校である。児童の居住地からは比較的駅が近く、隣駅にある市立図書館や、中学校区にある文化センター内の図書室等も利用しやすい環境にある。教育目標「学びあい 助けあって 自分を高める」を目指し、日々教育活動に取り組んでいる。

2 本校の実践

(1) 実践の視点

- ・ 読書に親しむ態度や読書週間に係る取組
- ・ 学校図書館等の環境整備の工夫

(2) 実践の概要

＜読書に親しむ態度や読書週間に係る取組＞

ア 読書タイムと読み聞かせの会

毎週金曜日、「朝読書」に取り組んでいる。毎週火曜日、昼休み後にも



「読書チャレンジタイム」を設け、本の帯作り、ビブリオバトル等に取り組んだ。ボランティアによる「読み聞かせ」は、感染症予防のため、学校図書館より生配信し、各学級でテレビ視聴した。

イ 図書イベントの取組（図書委員会、読書クラブ）

- ・ 第1弾「2冊借りるともう1冊借りられます！」
本を2冊借りたらガチャガチャをしてもらい、当たった分類番号の本をもう1冊貸し出した。普段手にとらない本との出会いを楽しんでいた。

- ・ 第2弾「イラストビンゴ」

本に関する絵を、学校図書館内に隠した。ビンゴになった児童に、特製ブックカバー、しおりを配付した。



- ・ 第3弾「暗号ゲーム」

2冊借りた児童にくじを3つ引いてもらい、3文字の言葉になった児童に、しおりを配付した。

- ・ 第4弾「お楽しみ袋」

毎日30袋のお楽しみ袋を用意。2冊借りると図書委員おすすめの本が2冊入った袋も貸し出した。



ウ 読書貯金の取組（読書賞の表彰）

低・中・高学年ごとに目標冊数を定め、多読の児童は、毎月末に行われる読書表彰式で、校長から賞状を授与された。ブロンズ賞、シルバー賞、ゴールド賞があり、ゴールド賞を受賞した児童の写真を撮り、校内に飾った。



エ 校内ビブリオバトルの取組

- ・ 1学期は図書委員会内でのビブリオバトルの様子を視聴し、全校児童で投票を行った。
- ・ 夏休みに教職員で研修した。
- ・ 2学期は全学級でビブリオバトルを行った。
班ごとにバトルを行い、クラスのチャンプ本を決定し、その後の各クラス代表によるバトルを全校で視聴して投票を行い、チャンプ本を決定した。
- ・ 校内に「チャンプ本」紹介コーナーを設置した。

オ 読書の日

毎月第3金曜日を、氷川小読書の日とした。宿題を読書とし、親子で読書をしてもらえるよう、家庭に啓発を行った。

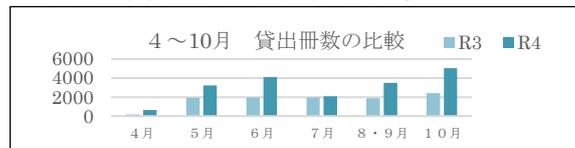
＜学校図書館等の環境整備の工夫＞

- ア 学校図書館内の季節ごとの環境掲示
- イ 学校図書館前の廊下掲示
- ウ 学級文庫の設置
- エ 学習に沿った図書の学年文庫の設置

3 成果と今後の課題

(1) 成果

- ・ 図書の貸し出し数が、増加した。



（令和3年度 10,277冊／令和4年度 18,700冊）

- ・ 分類に興味をもち、様々なジャンルの本を読書する児童が増えた。
- ・ 委員会、クラブ活動の児童の自主性が高まった。

(2) 課題

- ・ 貸し出し数は増えたが、学年によって差がある。
- ・ 物語や絵本が選ばれる傾向にある。

(3) おわりに

読書量を増やし、本への興味はもたせることができた。今後も、読書に親しむ児童を育てるための取組を考えていきたい。